

KANAGAWA

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会 <http://www.j-kana.or.jp/> email: info@j-kana.or.jp

7

July, 2016

vol. 403

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会は、40周年を迎えます。

Contents

建築探訪...01

会員仕事紹介...03

支部だより...05

旅行記...7

総会報告...9

編集者のつぶやき...10



建築探訪

平塚市美術館を訪ねて

平塚支部 新倉建築設計事務所 新倉 良一

平塚美術館のあゆみ

梅雨に入りどんよりとした曇りの日に、平塚美術館を訪れました。芝生の庭を全面に美術館は、池の水面に反射してひっそりと佇んでいました。平塚美術館建設が発起されたのは戦後まもなくでした。展覧会を自主的に開いていた地域の作家たちでした。平塚でも1984年に美術館建設研究委員会が発足して基本構想を、1986年に平塚美術館建設基本計画を策定し、開館へ向けて具体的な動きが始まり1991年3月開館を迎えました。

外部からのアプローチ

池に沿って歩いていくと右手に正面入り口が東側に見えます。入口の向こう側には彫刻広場の階段が見渡せます。彫刻広場は階段を下り東側の緑の芝生に解き放たれた様に続いています。正面入り口脇に円形のレストランが見えます。池に面し外からアプローチする時のアクセントになります。

内部の観覧

内部に入ると東の入り口の他に、西側にも入り口がありこの東西の入り口を挟んでロビー、受付があります。大理石の壁はつやがあり光っていて、あらたまった気分させます。

東西のロビーの端に、南北のロビー通路が続きます。この長い通路を歩むことにより美術品への期待感が高まっていくでしょう。この先は東西に吹き抜けの階段があり2階に2つ目の円形のボールト空間に至ります。展示室は2階にあり北側一面にライトコートを含んで2つの展示室があります。2階の展示室ロビーから2階屋外の彫刻広場のも出られます。

その他、身障者の見学にも対応されており、1階のミュージアムホールもピアノ発表会などでつかわれます。

内部ディテール

今回、ここを訪れ展示品もさることながら構造に関心は移ります。

東西にのびた2列の円形ボールトの構造は、イタリアの広場にあるドームを思い起こします。明るい大理石のロビーは地中海の町を連想させます。美術館全体は鉄筋コンクリート造でPCの円形ボールトが南北に2列配置されています。高さは15.8mです。われわれの目から見ると雨仕舞に苦勞したように思われます。

この美術館は美術品の展示だけではなく、美術に関する製作、集会の場としても使用され、そのためのさまざまなサークルがあります。ミュージアムホールは音楽会だけではなく、市民のためのさまざまなイベントに活用され、市民の美術館としての役割を担っています。帰り際に美術館付属のレストランで地域に建つ美術館の今後を期待して帰途につきました。

敷地面積 12877㎡ 延床面積 7181㎡
構造 鉄筋コンクリート造 H=15.8m
設計 日建設計



正面入り口



円形レストラン



レストラン前の池



広場のオブジェ



正面外観



展示室円形ホールト



彫刻広場



2階より彫刻広場を見る

横須賀支部 有限会社日栄建設・日栄建設設計事務所 比護 友一

横須賀・三浦半島を中心に仕事を行って83年目となります。祖父が新潟県の中学校を卒業してこの地で大工の修行を10年間行い、25歳で初めて銭湯新築工事の元請を行いました。そこが当社のスタートになります。祖父から叔父、父親と私で4代目になり、その後の5代目も控えております。



設計事務所の業務は私が建築士の免許を取ってから事務所登録をしました。設計事務所としての歴史は浅く、今でも施工と現場管理を主に仕事をしています。

3

仕事内容の比率は公共工事3割、民間工事が7割、民間工事の中でも新築工事は年に1~2棟で、改修工事が主な仕事になっています。工法は木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造まで行いますが、鉄筋コンクリート造はここ数年は坪単価が合わないのか、ほとんど施工していません。

なぜ施工会社なのに建築士事務所協会に入っているの？と同業者には聞かれますが、建設関連の情報の速さと情報量は事務所協会の方が勝る部分も多く、建築士が社内に居るならば事務所登録をして事務所協会に入ることを同業種にはお勧めしています。

「地元の仕事は地元工務店で施工する」地産地消のイメージを建設業でも植えつけるために仕事以外の活動も多く行っています。子どもたちへの物作りへの魅力作りや、同業種、同年代とのレベルアップをするための勉強会などを企画運営しています。今の建設業は親の作った轍を歩いていくだけでは成り立たなく、それを次世代にも様々な活動を通して伝えていく必要もあると思います。（横須賀の建設関連団体が集まって行うイベント「建設フェスタ」、毎年多くの子どもたちが遊びに来てくれます）



（PTA活動から生まれた花火大会は今では数千人が参加をする規模のイベントになりました。当社では仕掛け花火の設営を行っています）





従業員は会長・社長（私）を含めて7名で稼働をしています。社員には「何でもやる・挑戦をする」をモットーに仕事をして頂いています。万が一、当社が無くなってもすぐに仕事ができるように資格の取得などにも協力をして取得に挑戦をしてもらっています。

最近の当社の施工物件の紹介です。施主の思いを設計者と共にカタチにしました。

平成26年 横須賀市根岸町-S邸
鉄骨造2階建て



設計：KAZ設計一級建築士事務所

平成27年 横須賀市湘南鷹取-S邸
木造2階建て



設計：株式会社 齊藤正毅工房

支部だより

横浜支部 南ブロック活動

横浜支部副支部長 梅原 義信

横浜支部ではブロック制をとっており、南ブロックは南地区(会員16名)と磯子金沢地区(会員15名)からなり、ブロックとしての交流、結束を図るべく、4月2日に「金沢の歴史、建築」と題した講習会、見学会、親睦会を行ないました。

講習会は神奈川県立金沢文庫内の大会議室で、前半は専門学芸員の山地氏から金沢北条氏、鎌倉幕府からの金沢の変革について金沢文庫のビデオを使用しての講習、後半は株式会社エス・デー・ジー建築設計事務所の相原氏から縄文時代(野島貝塚)から現代までの金沢の変革を貴重な江戸各所図絵や郷土資料をスライド化したものを使用しての講習で、どちらも分かりやすく、いかに金沢の歴史は古く、日本の歴史の中核に深く関わり、また、地形も埋め立てが何度も繰り返させられ、大変興味深く聞きました。

見学は神奈川県立金沢文庫の特別展「金沢百景-角田武夫の描いた失われた風景」を山地氏に解説していただきながら見る事が出来ました。角田武夫は地元金沢小学校で教鞭をとり、今年で没後70年になりますが、約100年前の金沢の風景が水彩で丁寧に描かれ、皆さん食入の様に見ていました。

それから称名寺の境内を見学。1681年に再建された金堂、浄土庭園で過去から現代を結ぶ太鼓橋、歌川広重の金沢八景の一つである「称名晩鐘」の金撞堂、約4mの関東一といわれる仁王像のある仁王門、これらは講習後だけだけに見方が変わりました。

懇親会は、称名寺赤門脇の「懐石料理 ふみくら」でおこない、南ブロック長の末木氏の乾杯で始まり、参加者19名、一人一人の自己紹介、講習会、見学会の感想、質疑等を言ってもらい、最後は南地区長の伊藤氏にしめて貰いました。次回は南地区での会を開こうとの意見がありました。



講習会状況



称名寺金堂



称名寺仁王門



懇親会にて

支部だより

川崎支部研修旅行

恒例の支部研修旅行として今年は4月の10(日)、11日(月)の1泊2日のツアーとして長崎・軍艦島が計画された。今回は総勢22名の参加がありました。このうちご夫婦は3組、賛助会からも1名の参加で、和気あいあいとした旅でした。建築見学をする建築物も盛りだくさんで、初日の羽田空港での集合時間も早く、時間的に間に合わずホテル前泊したり、家族に送迎してもらったり、みなさんいろいろ工夫されていました。見学先としては1.長崎原爆資料館、2.国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館、3.平和記念像、4.日本二十六聖人記念聖堂聖フィリポ教会（今井兼次設計）、5.長崎県立美術館（日本設計/隈研吾設計）、6.グラバー邸（グラバー園）、7.日本二十六聖殉教者天主堂（大浦天主堂）を初日に見学しました。メインは翌日の軍艦島ですがクルーズの関係から午前8.長崎歴史文化博物館（黒川紀章設計）を見学しました。最後は世界遺産となった9.軍艦島見学後、大村湾に浮かぶ長崎空港から帰路につきました。前日の夕食会では稲佐山の中腹にあるホテルからの夜景は素晴らしく、夜景を楽しみながら年度末の疲れを癒すことが出来ました。高齢者はホテルのクラブ止まりですが、若く元気な連中は「思案橋」方面迄タクシーで下山されたようです。



※4：サクラダ・ファミリアで有名なスペインの建築家ガウディを日本に紹介した建築家でコンクリート造に陶器やガラスの破片を貼付けた双塔が教会の屋根の上高くそびえているのが印象的です。ガウディは市電に轢かれて亡くなりましたが長崎も今も市電が縦横に走っているのが印象深いです。副支部長の奥様は熱心なクリスチャンで外国語のミサ(missa)に参加されたとか。

※5：運河を挟んで美術館棟とギャラリー棟の鉄

川崎支部 恩田 耕爾

骨造で外壁はガラスとルーバー状の茶色の花崗岩張り仕上げとなっている。「ONE表参道」は外壁に木のルーバーでしたが、今回は石でした。2棟のジョイント部の天井をみると鉄鋼がいやに多いのが印象に残った。当日は「くまのプーさん展」、「ミュシャ展」が開催されていてご興味のある方もちらほらいました。国立競技場の設計者としても有名で皆さん、ホテルにも戻られてからもデイトール他に話題が付きにくいようでした。



※9：軍艦島：明治の産業革命のエネルギーとして石炭が大量に採掘された。元々は端島として小さかったが、石炭ガラのボタを島の周辺に埋め、現在の大きさになった。住宅、学校、保育園、病院、浴場、プール等が密集していて一つの街になっている。7階建ての30号棟は築後(大正5年)100年を経過していて、当時としては先端の計画でした。コンクリートの劣化の研究からも学術的にも貴重です。北東に位置する65号棟はコルビジェのマルセイユの集合住宅(1952年337戸)に規模的(317戸)にも時間的(1945年～1958年)にも劣らない先端建築物が名もない人々によって造られたことはとても驚嘆すべきことです。ここは「三菱」発祥の地です。岩崎弥太郎は武器商人でもあるグラバーと土佐から出張できた長崎の花町で出会い、炭坑事業も手がけたグラバーの労務管理の失敗を助け、「三菱商会」は順調に滑り出します。

炭坑自体は江戸時代、文化7年に露出炭が発見されていた。粘結炭で良質です。

今回の旅で長崎弁「がおってらんね」を覚えましたが、意味は忘れてしまった！



軍艦島の石炭

旅行記

森の半島まなづる（風景）の美を探るツアーに参加して

相模原支部 スタジオアートクリエイト
一級建築士事務所 杉本 勝郎

ゴールデンウィークの翌週5月14日に景観・まちづくり専門委員会主催の恒例「まち歩き」に参加する機会を得ました。

澄み渡る快晴の中JR真鶴駅前で集合。コミュニティ真鶴という建物を訪れしばし建物を見学した後ワークショップを開催し、まず頭をほぐします。お題は「美の基準」。この美の基準は、全国でも先進的なまちづくりの為のデザインコードで平成6年に制定されました。参加者が4班に分かれすこしレクチャーを受けた後、某所の町並みの写真を元に美の基準8原則のキーワードに該当する部分を探し出し発表するといったことで、美の基準に触れるといった趣向でした。



コミュニティ真鶴



ワークショップ風景

昼食後、ボランティアのガイドさんの案内でまち歩き開始です。細い路地を通りながら海の安全と豊漁祈願、水難と魚貝類供養の「鯖大師」を見学しました。



鯖大師前で記念撮影

海上からくる涼風で一休みした後、港の方に向かいました。その次に行ったのは、貴船神社です。貴船神社は国の重要民俗無形文化財として有名な「貴船祭り」を催すことで知られています。



貴船神社前にて

少々歩き疲れた身体に鞭打って108段の通称清めの階段を上り参詣。

バスにて「お林」と呼ばれる豊かな森林地帯を抜け三石海岸、森林浴の気持ち良い遊歩道を抜け、まち歩きの終点、遠藤貝類博物館に辿り着きました。

規模的にこじんまりした博物館なのですが学芸員の方のお話が面白く、時間がたつのも忘れるひとときでした。

日も傾きまたバスで真鶴駅まで戻り今回のまち歩きも終盤に近付きました。と言うのも恒例懇親会が用意されているからです。初夏の日差しで汗もかいた面々、当然「生ビール!!」の合唱から地元産魚介に舌鼓を打ち話に花が咲いたことも付け加えておきます。



お林の遊歩道

横浜支部『しごと展』

横浜支部で昨年から行っている「豊かな暮らしと住まいのデザイン展」が、3月23(水)から31日(木)までの9日間、横浜市の複合商業施設マークイズみなとみらいで開催されました。今回で2回目、敢えてテーマは絞らず『設計事務所の仕事展』という大きなくりの企画展です。

ここマークイズでは週に一回、横浜支部会員による無料建築相談窓口を開いていますが、一般のお客様からは、設計事務所に相談なんてとても敷居が高い、というお声を多く頂いております。

我々設計事務所は、まだまだドラフターを使って特別な建物をデザインしている先生、というイメージのようで(笑)、普通の家のお小さな悩み事なんて恐れ多くて、との事。

本格的なストック時代での設計事務所のあり方を考えた時、誰もが気軽に尋ねることのできる印象を持ってもらう事は、とりわけ町場の設計事務所にとっては大事なように思います。そこで会員の皆様の多岐に亘る普段の仕事を見

横浜支部 港設計一級建築士事務所 山口 英生
ていただくことで「設計事務所は一般の方にとって異次元でなくとても身近で与し易い存在なんだ」というアピールに繋げる事を『しごと展』の一義的な目的とし、同時に参加会員の会社概要や作品のパンフレットを置いていただく機会の提供も行いました。

より多くの支部会員に参加いただけるよう、A3PDF提出とした結果、前回は上回る16点の展示が出来ました。店舗や住宅・別荘等の作品紹介から、耐震業務の紹介、保育園や高齢者・福祉施設の紹介、景観に配慮した大型建築物に至るまで、時代・世相を反映した多様な展示となり、来場者もあれやこれやと見て回っていました。参加会員の皆様、おつかれさまでした。

第3回開催については40周年記念とも重なり、他の支部会員様にも展示枠を用意しようと考えています。年末開催を目指してそろそろ準備をスタートします。展示募集の折には、横浜支部の方はもとより、他の支部の方も是非どしどしご応募ください。



総会報告

一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 第4回定時総会（平成27年度決算総会）報告

日時 平成28年6月3日（金）14：00～

場所 ロイヤルホールヨコハマ 4階エリゼ

◇司会者：山本理事

◇建築士事務所憲章の朗読

◇開会の辞 棕副会長

◇物故会員（3名）に黙祷（平成28年熊本地震により犠牲となられた全ての方々に対し哀悼の意を表し、黙祷）

◇会長挨拶 小林会長

◇定足数の確認

現在会員数 771名（過半数＝386名）

議場出席者 74名

書面表決出席者 344名

委任状 82名

出席者合計 （500名）

以上、定款第23条による総会の設立を報告

◇正副議長選出

議長 海老名支部 加藤昌義様

副議長 厚木支部 高澤智様

◇議事録署名人選出

定款第26条2項により議事録署名人として
会長小林忠志氏と千賀浩一氏を選出

◇議案

(1) 第1号議案 平成27年度決算報告承認の件

永田総財務委員長より報告

(2) 監査報告

磯田監事より平成27年度監査報告

以上により第1号議案の説明と監査報告を終了し、議長は一括質問を受ける旨、発言

また、質問者は支部名、氏名を述べて質問するよう求めた

議長は質問がないことを確認し、議場に第1号議案について承認を求め、満場一致の承認を認め、議場74名、書面表決（第1号議案承認343名、第1号議案不承認1名）343名、委任状82名の承認を合わせて499名の承認となり、定款第23条による過半数を満たしていることから、承認された

(3) 第2号議案 役員等の費用弁償に関する

規則改正承認の件

議案書により、規則改正案について白井副会長より説明

以上により第2号議案の説明を終了し、議長は一括質問を受ける旨、発言

また、質問者は支部名、氏名を述べて質問するよう求めた

議長は質問がないことを確認し、議場に第2号議案について承認を求め、満場一致の承認を認め、議場74名、書面表決（第2号議案承認343名、第2号議案不承認1名）343名、委任状82名の承認を合わせて499名となり、定款第24条による過半数を満たしていることから、承認された

議長より、本日提出の議案はすべて終了したことを発言、議場に他に発言のないことを確認し、議事の終了を宣言。進行を司会者に戻した。

◇正副議長解任

議事の終了を宣言し、正副議長解任を司会が宣言

◇報告

(1) 第1号報告 平成27年度事業報告承認の件

議案書により、白井副会長から報告

(2) 第2号報告 平成28年度事業計画の報告
白井副会長より報告

(3) 第3号報告 平成28年度予算の報告
永田総財務委員長より平成28年度予算を報告

(4) 公益目的事業についての説明
白井副会長より追加説明

◇閉会の辞 小渡副会長



横浜支部

株式会社ニ

戸大建設工

運云自
耕派士部

村松康夫延

平塚支部
設計工部

花田茂建築設計事務所一級建築士事務所

横浜支部

川崎支部

鈴木設計社

湘南三浦支部

秦野支部

《新華日報》 1957.05.05 第1版 第10000號

(所在地変更) 〒259-1306 秦野市戸川448-2

(所属支部変更) 旧) 横浜支部

(指定代表者・TEL・FAX変更)
山口 和也 TEL.042-752-1231 FAX.042-755-5995

相模原市設計協同組合

替助会新入会員

株式会社 アイネックス

平成28年6月15日現在

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます

【県西支部 神尾 明美】

・ 担 当 副 会 長 小 渡 佳代子
・ 広 報 情 報 委 員 長 白 川 正 孝
・ 広 報 情 報 副 委 員 長 三 村 邦 彦 小 泉 厚
・ 広 報 情 報 委 員 雨 森 隆 子 恩 田 耕 爾 清 田 鈴 美 子
・ 新 倉 良 一 小 井 口 英 寿 坪 井 教 一
・ 杉 本 勝 郎 神 尾 明 美
・ 事 務 局 小 林 恵 美



今月の表紙

古都 鎌倉 報国寺

梅雨に入る直前の鎌倉、竹林で有名な報国寺に足を向けました。木漏れ日とさわやかな竹の香がすがすがしく感じられます。耳を傾けると 風の音。癒される一瞬でした。



一般
社団法人

神奈川県建築士事務所協会

Kanagawa Architect Office Association